



中央図書館の9月1日オープン

福祉・文教施設の充実をめざして…

真中公民館

八月十一日、真中公民館の起工式が行われました。真中公民館の建物は、昭和五十一年に廃校となった真中小学校を改装して使用してきましたが、老朽がはなはだしく、また、地域の社会教育活動の活発化に伴って手狭になり、十分な公民館活動が出来ないのが現状でした。こうした



市立中央図書館が、九月一日にオープンします。旧図書館は、蔵書や利用者の増として建物の老朽化が著しくなってきたため、同地に四億五千七百四十五万円で改築されたものです。二千三百平方メートルの敷地に、鉄筋コンクリート造り二階建て（一部三階建て）、延べ二千二百平方メートルの建物となっています。建物に入ると一階には、新聞・雑誌・談話コーナーがあります。

中で地域の方々からの強い要望もあって今年改築することになったものです。新公民館は、現在地から二百メートル離れた、農林業多目的研修集会施設の北側に、総工費四千二百二十万円で建設されます。建物は、木造平屋建て、床面積三百八十五平方メートル、事務室（真中出張所も併設）、会議室、図書室、調理室、それに四十二畳敷の研修室（三室に仕切られる和室）などが配置されます。建物は十二月十五日完成予定となっております。生涯教育の推進や地域住民の学習と親睦に大いに役立つものと期待されています。

長根山運動公園

四十六年から着工し、野球場、テニスコート、陸上競技場と建設してきた長根山運動公園は、最終

その両側に一般図書室と児童図書室が設けられています。二階以上がると視聴覚室、参考図書・資料室、開架書庫、古文書や資料の保管庫、事務室、会議室などがあります。現在、およそ七万冊の図書、古文書の整理、搬入、虫干しが行われており、九月一日開館を目指して着々と準備が進められています。なお次号では、写真で館内のご案内します。

事業である公園内の舗装や修景施設工事が、九千二百六十万円で行われます。

当市の「特定不況地域」さらに五年延長

大館市が、五十三年に国から指定されていた、「特定不況地域」が六十三年まで延長されました。国では、不況対策の一環として五十三年に「特定不況地域中小企業対策臨時措置法」を制定し、中小企業の救済を図ってきました。当市でも、銅鉱業の不況によって指定を受け、不況業者に認定された中小企業者に対して低利の緊急融資等が行われてきました。しかし同法は今年六月末で廃止の予定でしたが、依然として不況が続いているため、さらに同法を五年間延長するとともに新たに振興対策を追加して、六月三十日から施行されました。

経営安定対策（緊急融資）

この法律で、当市が再度不況地域に指定されましたので、緊急融資などをご活用ください。
 ◆中小企業公庫 三千万円まで
 ◆国民金融公庫 七百万円まで
 ◆商工中金 限度なし

◆問合せ— 商工観光課商工係
 ☎49-3111 内線283

市民文化会館 催し物

ピカソ銅版画展

昨年展示されて好評を得ました「ピカソ銅版画展」が今年も開かれます。この版画展は、作品を所有している（株）ニッショー社長長野実氏（誘致企業（株）日本医工の親会社）のご好意で開かれるものです。展示される作品は「ピカソ銅版画 ヴォラール・シリーズ」の内、昨年展示されなかった五十点で日本では初めて公開されるものです。お誘い合わせのうえ鑑賞ください。
 とき・9月1日（木）～15日（木）
 午前9時～午後5時



4人の子供に見られる羽のはえた牛

文化講演会

とき・8月26日（金）
 午後6時30分
 ところ・文化会館中ホール
 演題・「安藤昌益の思想と大館の風土」
 講師・三宅 正彦氏（愛知教育大学教授）
 入場料・無料